

## 市民公開講座アンケートより 質疑応答集

Q. IBD の新薬を使える患者は、発症からどれくらいの期間までの人なのか。  
また、症状により使える、使えないということはあるですか。

A. 発症期間について特に制限はありません。症状により使える、使えないということも原則ありませんが、患者様の状態によっては適、不適があり、ご相談しながら決定していくことになります。

Q. 潰瘍性大腸炎の患者ですが、他の潰瘍性大腸炎の方がどのように仕事と両立しているのか知りたいです。(時短やパートなど)

A. 常勤で働いている方もたくさんいらっしゃいます。職場に病名を知らせるかどうかは、それぞれの方にお任せしていますが、まず寛解をめざします。病名を伝えた場合、寛解が維持されていても、定期的に通院していることを伝え、休暇を取りやすいようにすることをお勧めします。

Q. 現在 5ASA アレルギーにより、レクタブル注腸を使用していますが、次の段階では何になるのか知りたい。

A. 潰瘍性大腸炎の場合、5ASA 性アレルギーの方は寛解維持にはアザチオプリンや 6MP などのチオプリン剤を継続して使用することや、来年度発売される二種の新薬などを使用することが考えられます。レクタブル注腸は副作用は少ないですが、ステロイドのため長期使用は避けた方が良いでしょう。

Q. 新薬の紹介がありましたが、それぞれの薬価はおいくらでしょうか。

A. リアルダ錠 1200mg : 1錠 212 円、1日最大 4錠 848 円  
ゼンタコートカプセル 3mg : 1錠 256 円、1日最大 3カプセル 768 円  
レクタブル注腸フォーム 2mg: 1本 14 回分(通常 1日 2回、7日分) 6,940 円  
シンボニー皮下注 50mg : 1本 126,622 円、初回 4本 506,488 円、以降 4週毎に 2本 253,244 円  
ステラーラ点滴静注 130mg(初回のみ) : 1本 189,612 円、体重により 2~4本 379,224~758,448 円  
ステラーラ皮下注 45mg(2回目以降) : 1本 438,739 円、8~12週毎に 1回 2本 877,478 円  
記載した薬価は 10割負担の場合です。実際には保険が適応され、またほとんどの患者様では難病の申請をしていただくことで公費による助成が受けられますので、実際の支払額は少なくなります。また、薬価は 2018 年 4 月の薬価改正により変動する可能性があります。